

<テーマ>

音を聞く・話を聴く
～Aさん（側音化構音）との関わりを通して～

- 1 始めの言葉
- 2 話題提供（パワーポイントで事例紹介）
 - (1) 指導者が音を聞くことについて
 - (2) 指導者とAさんで音を聞くことについて
 - ・会話を通して音の違いに気づくこと
 - (3) 指導者と保護者の共通理解について
 - ・音を聞いてもらうこと
 - ・話を聴くこと
- 3 話題提供に対する感想・質問 等

4 グループでの情報交換

(1) 情報交換の内容

柱1 指導者や子どもが、音を聞き取るために取り組んでいること（他声音・自声音）

※音を聞くことについて、指導の中で取り組んでいることや使っている道具の写真など、何か見せて話していただくと大変参考になります。（可能な方）

柱2 構音障害の子ども達にとって、どんな困り感（要因）がありそうか。

- ・ 構音検査や指導の中で指導者が気づいたこと、疑問に思ったこと、悩んだこと
 - ・ 保護者の話から聴いてわかったこと
 - ・ 困り感に対してどのように取り組んでいるか。
 - ・ 取り組んで悩んでいること
- 等

※一人一事例ほど、紹介していただきたいと思います。（1人 10分以内）

資料作成の必要はありませんが、事例を聞いてイメージする難しさも考えられるので、可能な方は、写真（書籍での口腔状態等）、録音した音、ipad などを使って紹介していただくと大変参考になると思います。発達面での要因もあるかもしれません。

(2) 情報共有

5 終わりの言葉

